

BEYOND2025

taliki・京都市・京都リサーチパーク 開催に向けての共同記者会見



タイムライン

- 9:40-9:45 実行委員からのご挨拶
- 9:45-9:55 京都市からのご共有
- 9:55-10:10 BEYONDについて
- 10:10-10:20 質疑応答
- 10:20-10:25 フォトセッション・閉会
- 10:25- 記者レク（希望者のみ）

01. BEYOND実行委員会からのご挨拶

京都市長 松井 孝治

「新しい公共」宣言 要点（「新しい公共」円卓会議による提案）

- ◇ 「新しい公共」とは、「支え合いと活気のある社会」を作るための当事者たちの「協働の場」である。そこでは、「国民、市民団体や地域組織」、「企業」、「政府」等が、一定のルールとそれぞれの役割をもって当事者として参加し、協働する。（次ページの「イメージ図」参照。）
- ◇ 「新しい公共」の主役は国民である。国民自身が、当事者として、自分たちこそが社会を作る主体であるという気持ちを新たにし、ひとりひとりが日常的な場面でお互いを気遣い、人の役に立ちたいという気持ちで、それぞれができることをすることが「新しい公共」の基本だ。ひとりでは到底解決できないような大きな社会問題は多いが、大きな問題だからこそ、ひとりひとりの気持ちと、身近かなことを自分から進んで行動することが大事なのだ。
- ◇ 企業も「新しい公共」の重要な担い手である。企業は、社会から受け入れられることで市場を通して利益をあげるとともに、持続可能な社会の構築に貢献することにより、「経済的リターン」と「社会的リターン」の両方を実現することが可能なはずだ。しかし、昨今のグローバル経済システムは、利潤をあげるのみが目的化し、短期的利益を過度に求める風潮が強まり、その行き過ぎの結果、「経済的リターン」と「社会的リターン」を同時に生み出すことができない状況も起きている。「新しい公共」を考えることは、資本主義のあり方を見直す機会でもある。一方、NPOや社会的課題を解決するためにビジネスの手法を適用して活動する事業体が継続的な活動を行える仕組みを作る事は、よりよい社会を構築するための多様性を確保するという視点から重要である。
- ◇ 「新しい公共」を実現するには、公共への政府の関わり方、政府と国民の関係のあり方を大胆に見直すことが必要である。政府は、思い切った制度改革や運用方法の見直し等を通じて、これまで政府が独占してきた領域を「新しい公共」に開き、「国民が決める社会」を作る。
 - ・税額控除の導入、認定NPOの「仮認定」とPST基準の見直し、みなし寄附限度額の引き上げ等を可能にする税制改革を速やかに進め、特に、円卓会議における総理からの指示（税額控除の割合、実施時期、税額控除の対象法人）を踏まえて検討を進める事を強く期待する。
 - ・関係各省庁の壁を乗り越え、「特区」などを活用して社会イノベーションを促進する体制を政府一体となって作ること、および、政府、企業、NPO等が協働で社会的活動を担う人材育成と教育の充実を進めることが重要。
 - ・国や自治体等の業務実施にかかわる市民セクター等との関係の再編成について、依存型の補助金や下請け型の業務委託ではなく、新しい発想による民間提案型の業務委託、市民参加型の公共事業等の仕組みを創設することが必要。
 - ・公的年金の投資方針の開示の制度化による社会的責任投資の推進をすることが望まれる。
- ◇ 「新しい公共」が作り出す社会は、すべての人に居場所と出番があり、みな人が人に役立つことの喜びを大切にするとともに、その中から、さまざまな新しいサービス市場が興り、活発な経済活動が展開され、その果実が社会に適正に戻ってくる事で、ひとびとの生活が潤うという、よい循環の中で発展する社会である。さらに、つながりの中で新しい発想による社会のイノベーションが起こり、「新しい成長」が可能となるであろう。
- ◇ なお、今後の政府等の対応などをフォローアップし、また、「新しい公共」について引き続き議論をする場を設けることが望ましいと考える。

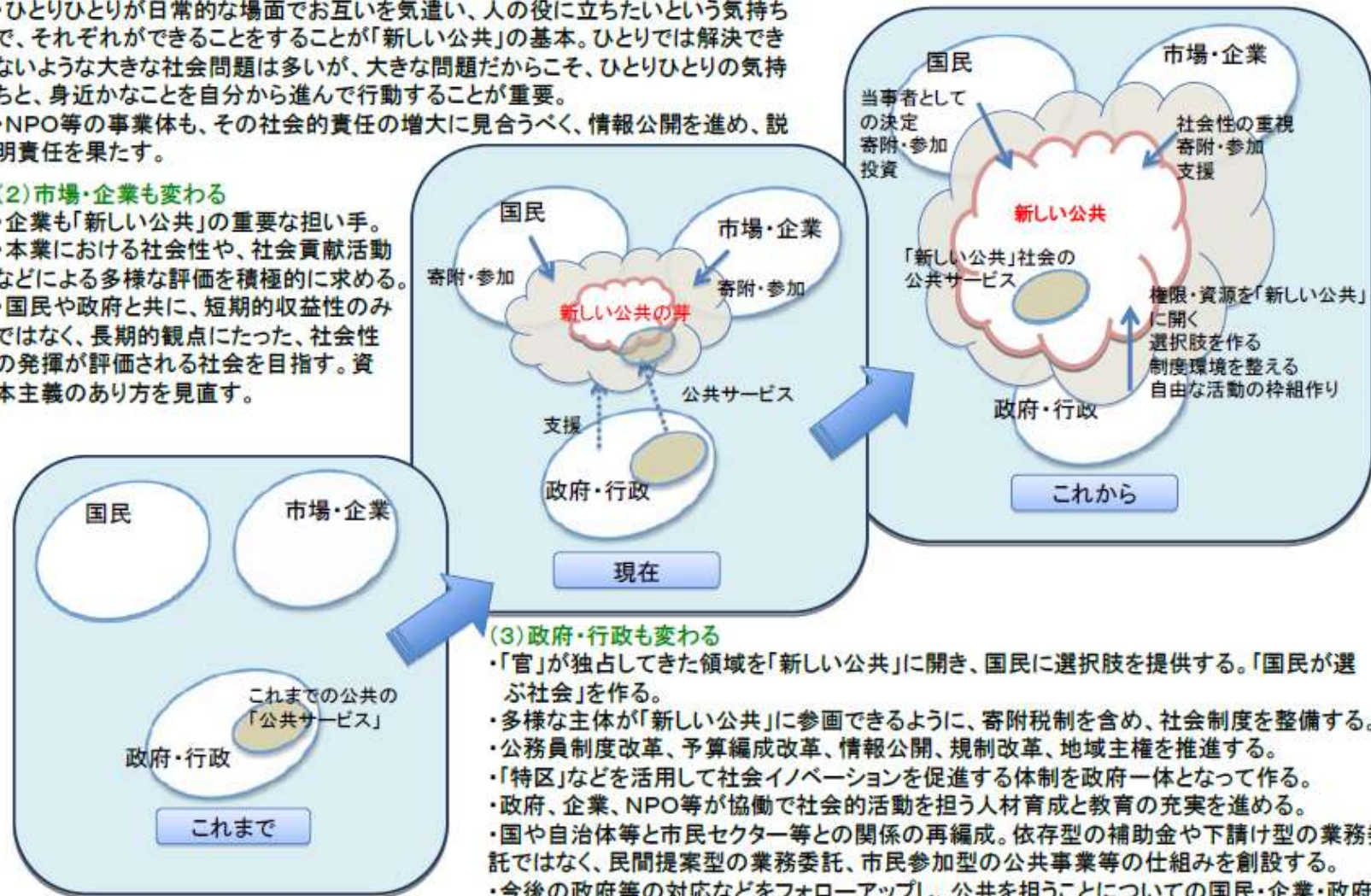
「新しい公共」のイメージ図

(1) 国民も変わる

- ・「お上依存」から、自らが選択する当事者へ。
- ・自らが当事者だという気持ちをもって行動する。
- ・ひとりひとりが日常的な場面でお互いを気遣い、人の役に立ちたいという気持ちで、それぞれができることをすることが「新しい公共」の基本。ひとりでは解決できないような大きな社会問題は多いが、大きな問題だからこそ、ひとりひとりの気持ちと、身近かなことを自分から進んで行動することが重要。
- ・NPO等の事業体も、その社会的責任の増大に見合うべく、情報公開を進め、説明責任を果たす。

(2) 市場・企業も変わる

- ・企業も「新しい公共」の重要な担い手。
- ・本業における社会性や、社会貢献活動などによる多様な評価を積極的に求める。
- ・国民や政府と共に、短期的収益性のみではなく、長期的観点にたった、社会性の発揮が評価される社会を目指す。資本主義のあり方を見直す。



(3) 政府・行政も変わる

- ・「官」が独占してきた領域を「新しい公共」に開き、国民に選択肢を提供する。「国民が選ぶ社会」を作る。
- ・多様な主体が「新しい公共」に参画できるように、寄附税制を含め、社会制度を整備する。
- ・公務員制度改革、予算編成改革、情報公開、規制改革、地域主権を推進する。
- ・「特区」などを活用して社会イノベーションを促進する体制を政府一体となって作る。
- ・政府、企業、NPO等が協働で社会的活動を担う人材育成と教育の充実を進める。
- ・国や自治体等と市民セクター等との関係の再編成。依存型の補助金や下請け型の業務委託ではなく、民間提案型の業務委託、市民参加型の公共事業等の仕組みを創設する。
- ・今後の政府等の対応などをフォローアップし、公共を担うことについての国民・企業・政府等の関係のあり方について引き続き議論をする場を設ける。

京都リサーチパーク株式会社 代表取締役社長
浅野 貢男

株式会社taliki 代表取締役CEO 中村 多伽

02. “企業の成長・発展・集結”と“長期的・持続的な都市の豊かさの創出”を繋ぎ、好循環の創出へ

目次

- 1 京都市のソーシャル・イノベーション施策
- 2 社会の変化
 - ー社会的インパクトの創出を重視する“政策へー
 - ー長期目線でインパクトを志向する”民間プロジェクト“ー
- 3 次の10年を展望した施策の方向性
 - ーBEYONDの充実ー
 - ー今後具体化・充実を進めるプロジェクト例ー
- 4 具体的取組

1 京都市のソーシャル・イノベーション施策

京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想*から10年

*ソーシャルビジネスに取り組む企業や応援者が京都に集い、京都から日本の未来を切り拓くことを目指す

ー主要施策・関連施策ー

● これからの1000年を紡ぐ企業認定

- ・ 社会課題の解決に向けた取組の実践や社会的インパクトを生み出そうとする事業者を認定

▶ 認定企業[113社]

● SILK（京都市ソーシャルイノベーション研究所）

- ・ 中小企業診断士、研究者等のコーディネーター6名(副業人材)が、社会的課題の解決に取り組む企業の成長を支援（セミナー、イベント、相談会、マッチングなど）

▶ 社会的企業誘致[17社]、社会的企業創業支援[14社]、伴走人材育成[147名]、イベント参加者数[約10万人]、事業相談[924件]

● KYOTO CITY OPEN LABO

- ・ 社会課題の解決に向けた民間事業者からのご提案をいただく公民連携の窓口

▶ 134件のマッチング成立



これからの
1000年を紡ぐ
企業認定

CERTIFICATE TO AN ENTERPRISE
WEAVING A THOUSAND YEARS
INTO THE FUTURE



2 社会の変化－社会的インパクト創出を重視する“政策”－

国内外で「社会的インパクト」の創出が重視される時代へ

- 社会的インパクト重視のスタートアップ政策へ

- ・ SDGsなど国際的な潮流の中、国のスタートアップ支援においても「社会的インパクト」を重視

(例) 経済産業省が、潜在力の高いインパクトスタートアップに官民一体で集中支援を行うための認定制度「J-startup Impact」を創設 (2023)

第2期スタートアップエコシステム拠点形成計画では、スタートアップの成長支援や社会全体の課題解決に資する取組として「オープンイノベーション・公共調達」を重視 (2025)

- ローカルゼブラ

- ・ 中小企業庁が、地域の社会課題解決の担い手となるローカル・ゼブラ企業の創出・育成に向けた方針を公表 (「地域課題解決事業推進に向けた基本指針」2024)

- カルチャープレナー

- ・ 京都市、Forbes JAPANが連携し、長期目線で文化芸術を振興・創造する社会的インパクトを目指す「カルチャープレナー」のアワード等を、京都から全国に向けた取組として開始 (2023)

- 京都基本構想 (案)

- ・ 今後四半世紀の京都市・京都市民のあり方を展望する長期視点の構想の策定へ (2025)

2 社会の変化－長期目線でインパクトを志向する“民間プロジェクト”－

京都に根差し、長期目線で課題解決・価値創造に取り組む起業家らのプロジェクトが顕在化

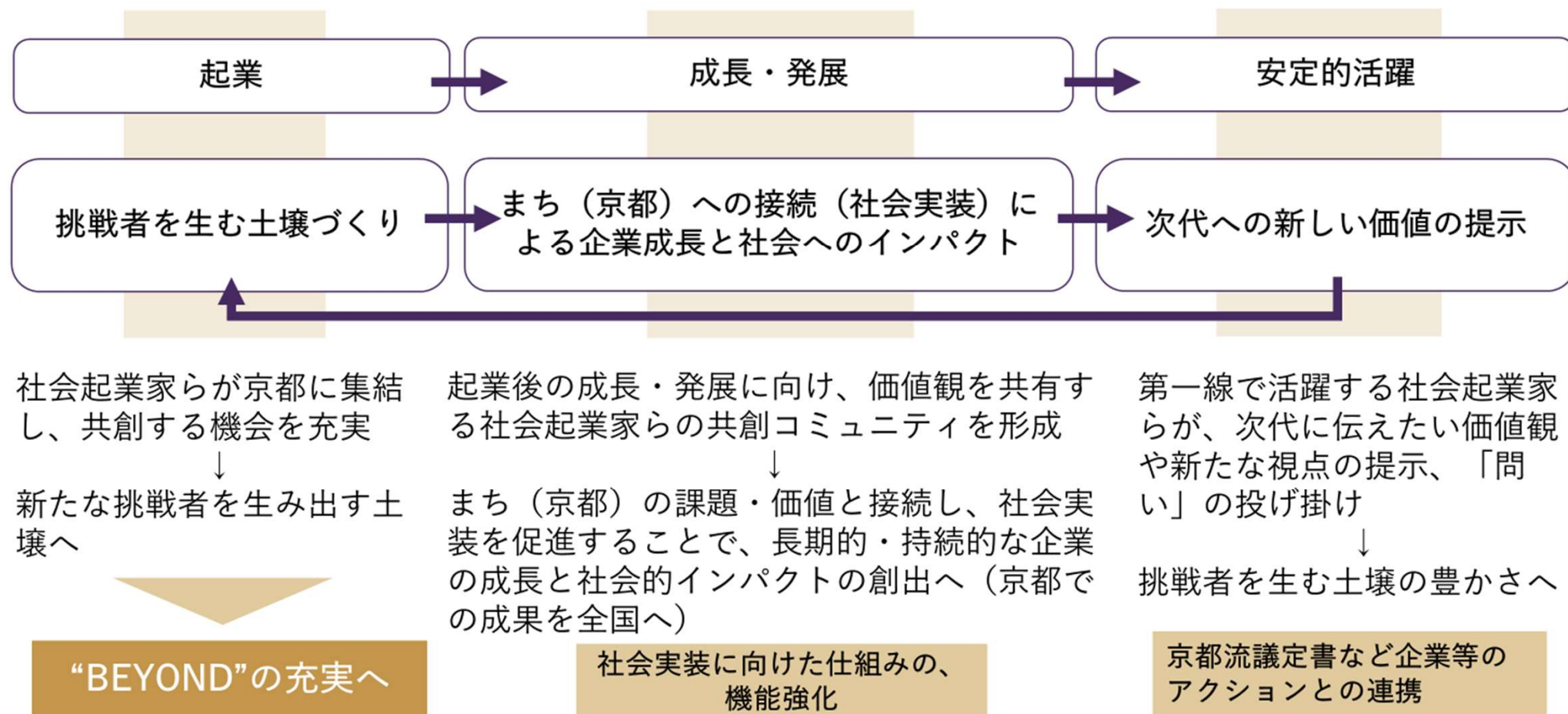
- **京都流議定書2025（ウエダ本社）**
 - ・ 各分野のフロントランナーが、長期的視野と思考で、数値化できない価値を研究・発信してきた京都流議定書（平成20年～令和4年開催）が、2025年、3年ぶりに再開
- **梅小路ACWA（アグティ）**
 - ・ 地域循環ワークシェアリングを通じて地域社会と企業がつながる取組の一環としてプロジェクト。京都市内で地域の関係性を深める場として、令和7年春に梅小路ACWAがオープン
- **1／KYOTO（ニシザワステイ）**
 - ・ 伝統を受け継ぐだけでなく次世代のため新たな価値を創ろうと果敢に挑む京都の「人」との対談がメインの観光プログラム
- **京都大学社会的インパクト評価学講座、安寧社会共創イニシアチブ、日本カルチャープレナー協会**
 - ・ カルチャープレナーが目指す社会的インパクトを測定・評価し、インパクトが最大限発揮できるツールを大学の知見を生かしながら開発。
- **京北地域での人材育成（ROOTS）**
 - ・ 世界の学生やクリエイティブな人材が訪れる京北で、里山に根差した循環的な暮らしと知恵から、次世代のリジェネラティブなアントレプレナーを育成するプログラムを実施
- **大学におけるイノベーション創出を目的とした学部、コースの設置**
 - ・ 哲学、デザイン・アート、アントレプレナーシップなどをテーマとする、AI時代のイノベーション創出に繋がる新たな学びの場の創出

3 次の10年を展望した施策の方向性

この10年、社会へのインパクトを意図した起業が常態化、京都に集まりつつある。
次の10年、“企業の成長支援”と“長期的・持続的な都市の豊かさの創出”を繋ぎ、好循環の創出へ

企業の
成長支援

長期的・持続的な
地域産業政策の視点



4 具体的取組－BEYONDの充実－

第一線の社会起業家らの共創機会の充実。

その熱量を新たな挑戦者へ“意思をもって届ける”

(株)talikiとともに、京都リサーチパーク(株)、京都市が参画し、実行委員会を組成し、全国の第一線の社会起業家らの共創の場、かつ、新たな挑戦者を生み出す機会へ

ポイント

- ① 全国4都市でのイベントの開催
- ② 社会起業家・中高生の無料招待
- ③ 参加者の共感を出展者に届ける支援の取組
- ④ 多種多様なサイドイベントの実施

BEYOND2025 | プレイイベント

全国4都市にて、合計5回のプレイイベントを実施
全国の第一線の社会起業家らの知見・熱量を集め、京都で化学反応を起こし、全国へ波及させる

社会課題解決のために
全国の社会起業家・事業会社
・行政等が集まって、
より大きなインパクトを創出！



BEYOND 2025 Pre Event FUKUOKA
トークセッション/社会起業家ピッチ
「企業と起業家の事業連携から生まれる
インパクトの可能性」

2025 08/08 FRI 17:00-20:00 LOCATION 【Fukuoka Growth Next】

「地方での社会課題解決の最前線」

DATERISE! Side Event
BEYOND 2025
Pre Event **SENDAI**

2025 08/23 SAT 11:00-12:30 LOCATION 「ソシラボ」 【SOCiAL Laboratory】

BEYOND2025 | プレイメント

京都でもプレイメントを実施

市民から企業まで、リソースを
循環させ社会を動かす再分配



BEYOND 2025
Pre Event **KYOTO**

認定NPO法人D×P
広報/ファンドレイジング
岩井 純一

株式会社taliki代表取締役CEO
/ talikiファンド代表パートナー
中村 多伽

2025
09/10 17:00-20:00
[水]オフライン開催

📍 LOCATION
【京都リサーチパーク】

BEYOND2025 | 社会起業家・中高生への無料招待

次世代や社会課題への「再分配」を促すため
教育委員会とも連携してチケットを無料で提供

社会起業家

Ticket

中高生

Ticket



BEYOND2025 | 参加者の声を出展者に届ける「応援チケット」

参加者にチケットを交付（500円相当）

参加者は共感した出展者（NPO法人等）にチケットと一言をお渡し

集まったチケットに応じて、実行委員会から出展者に資金を提供

BEYOND2025 | サイドイベント

会期中や前後には、参加者自らが主催するサイドイベントも実施



2025年10月4日(土)
9:00-10:30

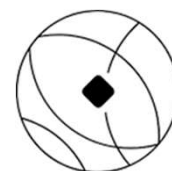
社会を変える起業家のための成長戦略

～事業を通じて社会課題解決を目指す起業家のためのファイナンス入門～

主催：KIBOW社会投資ファンド

- ◆ ソーシャルベンチャー向けファイナンス講座
- ◆ KIBOW社会投資ファンドの紹介・投資の考え方

この他にも多彩な
サイドイベントが開催予定



Impact
Startup
Association

BEYOND2025 | サイドイベント

BEYOND2025 サイドイベント

京都関係

案内

NIGHT

10.3 fri

18:30~21:00

SIGHTS KYOTO

主催：株式会社でかいうつわ 共催：SILK

3. BEYONDについて

BEYOND 2025の新たな取り組み

- ①「再分配」を目指し、初の官民連携の実行委員会形式
行政・産業支援機関、民間事業者が連携
- ②京都発・日本最大規模のソーシャルカンファレンス
全国でのプレイベント・サイドイベントを経て、
過去最大1,000名規模での開催
- ③京都を日本No.1の社会起業家都市へ
市内中高生へのスカラーシップ、京都市の産業施策と接続を通して、
京都を「社会起業家が集まるまち」へ

talikiについて

Vision 命を落とす人、死ぬより辛い人の絶対数を減らす仕組みを作る

Mission 社会課題を解決する人をエンパワーする

事業内容

インキュベーション事業

起業家予備軍、エンジェルからプレシード起業家向けアクセラレーションプログラムの運営



オープンイノベーション事業

大企業×社会起業家や社会課題解決新規事業のオープンイノベーション支援



ファンド事業

シードからアーリー企業へのベンチャー投資事業（talikiファンド）



メディア事業

オウンドメディア「taliki.org」にて社会起業家・社会課題に取り組む企業のご紹介、DB構築



taliki

設立：2017年11月29日

代表：代表取締役 中村多伽

所在地：京都府京都市中京区

BEYONDについて

日本最大級のソーシャルカンファレンスであり、
これからの社会に必要とされる協業と創発のきっかけづくりのイベントです。

「立場/所属/年齢/人種/性別/限界などあらゆる境界線を飛び越え、社会に新しい価値を共に提案する」をコンセプトに2018年より過去8回にわたって実施。起業家・学生・投資家・民間企業・行政・非営利団体など各セクターのプレイヤーが横断的に参加しており、累計参加者数2500人を突破。

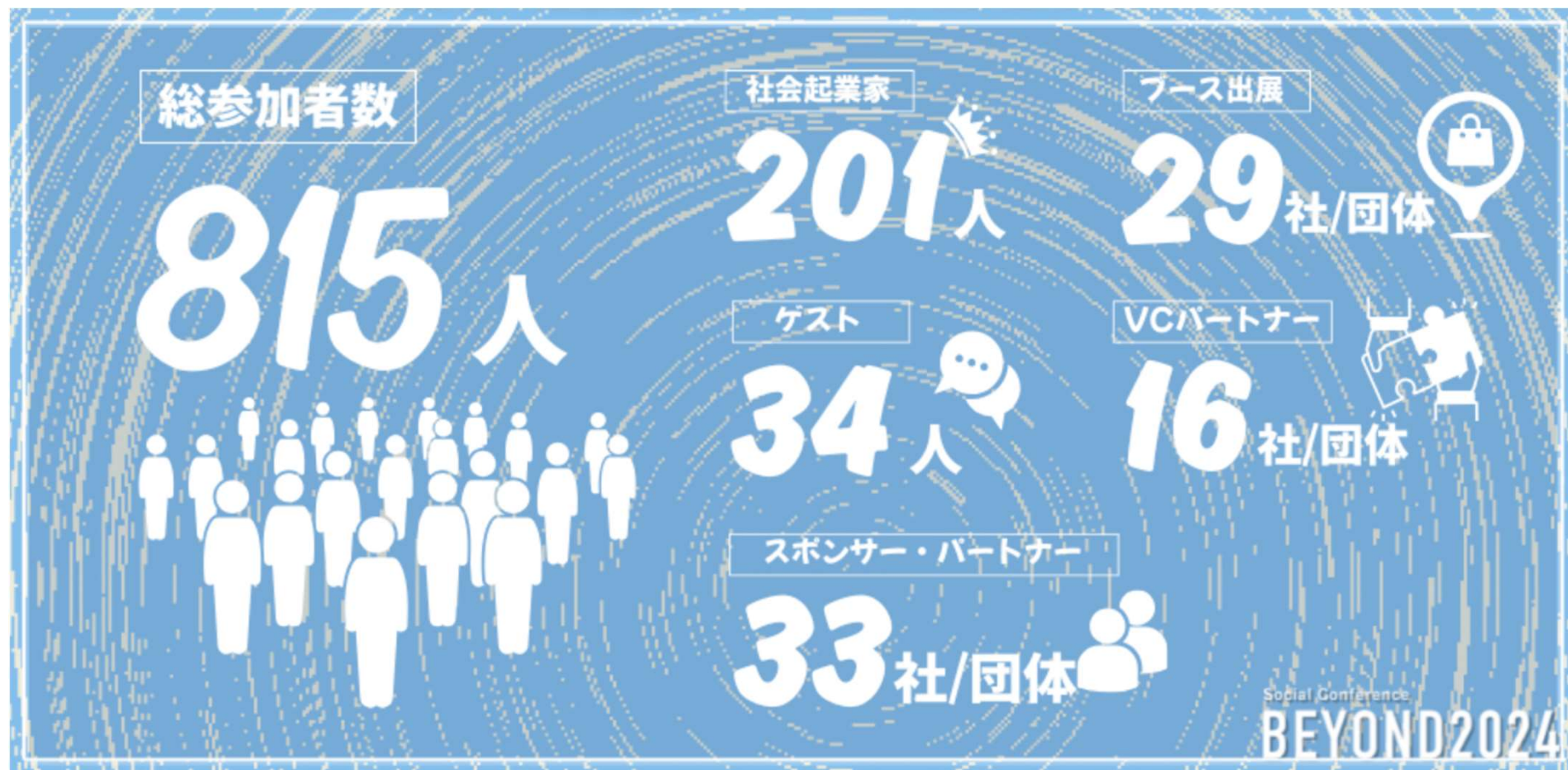


会場：京都リサーチパーク（京都市下京区）

これまでのBEYOND | 写真



これまでのBEYOND | 数字でわかるBEYOND 2024



これまでのBEYOND | 過去のゲスト



これまでのBEYOND | 過去のご協賛または参加企業/団体など



BEYOND2025について

BEYOND2025 | 「BEYOND実行委員会」の設立





SOCIAL CONFERENCE

BEYOND 2025

再分配のはじまり

2025.10.3 - 4

BEYOND2025 | 開催概要

開催日時

2025年10月3日(金)、4日(土)

開催場所

京都リサーチパーク (京都市下京区)

参加予定人数

1000人



— 主なコンテンツ —



プレイヤー・支援者・投資家ら
によるトークセッション



シード~シリーズAまでの
社会起業家によるピッチ



社会課題に取り組む企業
・団体によるブース出展

BEYONDの定義する「再分配」



産官学民による、意志を持った
リソースの届け方・使い方

BEYOND2025 | テーマ

「再分配のはじまり」

「上から順に豊かさが滴り落ちる」——そう信じられてきた経済の仕組みは、いま、現実とかけ離れたものになっています。

成長が叫ばれ、支援や投資が増えても、リソースは届くべき場所に届かず、その結果、多くの社会課題はいまだに深刻化し続けています。

必要なのは、"自然に届く"ことを期待するのではなく、"意志を持って届ける"という選択です。

BEYOND2025は、この現状へのアンチテーゼとして、「再分配のはじまり」を掲げます。

「再分配」とは、単なる慈善や施しではなく、社会の土台そのものをつくり変えていく営み。資金、知見、技術、情熱——あらゆるリソースを真に必要な場所へと再配置し、その合理性を考え抜き、語り合うことで、未来は動き出すと私たちは信じています。

起業家、投資家、企業、行政、市民が、それぞれの立場や強みを持ち寄り、分断された社会を再びつなぎ、新たな価値の共創に挑みます。

これは、新しい連帯のかたち。「再分配のはじまり」です。

01 社会課題解決の市場規模拡大を加速させるための場の提供

社会課題解決に挑む起業家が資金調達や採用、大企業・行政との協業につながるリレーションを獲得する

02 市場が小さい社会課題への取組みに対する再分配を加速させるための場の提供

市場が小さい社会課題領域への認知・理解を拡大し、寄付を促進する

上記に取り組むNPO法人などの社会起業家が、大企業のCSR部門・行政との連携、政策提言、ファンディングに向けたリレーションを獲得する

03 社会起業家支援の機運を醸成

社会課題に関心のある事業会社、行政、金融機関等を巻き込み、社会課題解決に対する理解度促進を進める

BEYOND2025 | 実施コンテンツ



- ①「成長か分配か」を超え、新しい再分配を考える
- ②最大の力にして難関である”民衆”を動かす仕掛けとは
- ③大企業は社会課題解決に合理性を見出せるのか
- ④テクノロジーによって可能になった再分配
- ⑤慈悲ではない、財務リターン絶対視を超える金融とは
- ⑥行政による社会課題への再分配実践論
- ⑦共に歩む、再分配のはじまり
- ⑧WS：資本主義の次を展望する新しい分配モデルの探索
- ⑨WS：あなたの命、どう使う？



プレシード～シード期の
社会起業家によるピッチ
「COM-PJファイナルピッチ」

プレA～シリーズAの
社会起業家によるピッチ
「社会起業家スケールピッチ」

ブース出展者による
「NPOピッチ」

リソースを持つ
行政・企業による
「リバースピッチ」

BEYOND2025 | 実施コンテンツ

ブースエリア

企業協賛ブース

寄付ブース

社会起業家ブース

自治体ブース

関西支援機関ブース

フードブース

VCスクランブル

社会起業家・VC・協賛企業が名刺交換や商談が可能なエリア
同エリアでVC壁打ちコンテンツも実施します

ネットワーキング及び交流会

イベント終了後、希望制で実施

BEYOND2025 | 登壇者

2日間で合計30名程のゲストが登壇予定



西武信用金庫
理事長

高橋 一郎 氏



こども政策シンクタンク
代表取締役／社会起業家

白井 智子 氏



公益財団法人Soil
代表理事

久田 哲史 氏



The HEADLINE
編集長

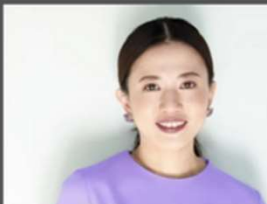
石田 健 氏



株式会社iiba
代表取締役CEO

逢澤 奈菜 氏

BEYOND2025 | 登壇者

 西武信用金庫 理事長 高橋 一朗	 株式会社うみさんラボ 代表取締役 比屋根 隆	 公益財団法人Soil 代表理事 久田 哲史	 フィランソロビードバイザーズ株式会社 代表取締役 Co-CEO 小柴 優子	 Ms.Engineer株式会社 代表取締役CEO やまざき ひとみ
 海士町 関係人口経営特命官 青山 達哉	 こども政策シンクタンク 代表取締役/社会起業家 白井 智子	 株式会社iiba 代表取締役CEO 逢澤 奈菜	 株式会社AICAN 代表取締役CEO 高岡 昂太	 株式会社Gab 代表取締役CEO 山内 萌斗
 一般社団法人 日本承認寄付協会 代表理事 三浦 美樹	 The Breakthrough Company GO クリエイティブディレクター 砥川 直大	 The Breakthrough Company GO コピーライター 有田 絢音	 株式会社デジリハ 代表取締役 岡 勇樹	 株式会社コークッキング 代表取締役CEO 川越 一磨

BEYOND2025 | セッション

10/3(金) 12:15より松井市長登壇セッションも開催！

SOCIAL CONFERENCE
BEYOND 2025

TALK SESSION

「成長か分配か」を超え、新しい再分配を考える

 株式会社 taliki 代表取締役 CEO / taliki フォund 代表パートナー 中村多伽	 京都市 市長 松井孝治	 フィランソロピーアドバイザーズ株式会社 代表取締役 Co-CEO 小柴優子	 株式会社デジリハ 代表取締役 岡勇樹
---	---	--	---

10/3 12:15-13:15 バズホール



SOCIAL CONFERENCE

BEYOND 2025

再分配のはじまり

2025.10.3 - 4

BEYOND2025 | セッション

インパクト投資、行政連携、金融、テクノロジーなど、
「再分配」を取り巻く全7テーマのセッションを実施

SOCIAL CONFERENCE
BEYOND 2025

TALK SESSION

慈悲ではない、財務リターン絶対視を超える金融とは



西武信用金庫
理事長

高橋 一郎



一般社団法人 日本承継寄付協会
代表理事

三浦 美樹



XBOE 社会投資ファンド・グローバルビジネス経営大学院
代表パートナー・教員

山中 礼二



一般社団法人 インパクトスタートアップ協会
代表理事

星 直人

10/4 11:10-12:10 バズホール

SOCIAL CONFERENCE
BEYOND 2025

TALK SESSION

共に歩む、再分配のはじまり



株式会社 うむさんラボ
代表取締役

比屋根 隆



公益財団法人 Soil
代表理事

久田 哲史



株式会社 こども政策シンクタンク
代表取締役 / 社員起業家

白井 智子



株式会社 taiki
代表取締役 CEO / taiki ファンド代表パートナー

中村 多伽

10/4 16:40-17:40 バズホール

BEYOND2025 | BEYONDを彩る4つのピッチ

BEYOND史上最多数、あらゆるセクターによるピッチ

NPOピッチ
(初開催!!)

スケールピッチ

リバーспitch

COM-PJ
ファイナルピッチ

10/3 13:15-13:35
(20分間)

10/3 13:50-14:50
(60分間)

10/3 16:00-16:30
(30分間)

10/4 12:45-15:30
(165分間)

ブース出展者による
連続ピッチ

プレA～シリーズAの
社会起業家ピッチ

リソースを持つ
行政・企業による
逆ピッチ

talikiとKRPが共催する
「COM-PJ」の最終発表
ピッチ

NPO

社会起業家

行政/事業会社

社会起業家

BEYOND2025 | COM-PJ ファイナルピッチ

taliki×KRP共催の社会起業家支援プログラムの最終ピッチを実施



社会起業家や非営利団体など 合計40近い団体が出展するブースエリア
見て、聞いて、触って、社会課題解決とつながることができます



BEYOND2025 | ブース出展



一般社団法人Welcome Japan /ピープルポート株式会社

再生パソコンブランド「ZERO PC」を運営する企業です。不要なPCや周辺機器の回収からデータ消去、再生・販売までを行い、環境負荷を抑えながらリーズナブルなPCを提供。

再生作業は日本に避難してきた難民の方々が担当しており、安心の雇用環境のもと社会参画を支援。

BEYOND2025 | ブース出展



株式会社デジリハ

デジタルアートとセンサー活用した、新しいリハビリ・療育ツールを提供。年齢や障害の有無に関係なくご活用いただけるため、小児・成人の福祉施設や病院でも導入されています。

ブースでは、視線入力センサーや加速度センサーなどを使用し、ゲーミフィケーションの要素を取り入れたアプリケーションを体験いただけます。

BEYOND2025 | 参加者も学びをアウトプットするワークショップ

SOCIAL CONFERENCE
BEYOND 2025

WORK SHOP

あなたの命、どう使う？

GUEST

浄土真宗本願寺派 玄性寺
若院

霊河太樹



10/4 15:40-16:30 バズホール

あなたの命、どう使う？

2日間のコンテンツを経た
参加者が、自分の大切なものを
振り返りながら、何に本当にリ
ソースを割くべきか考えます。



SOCIAL CONFERENCE

BEYOND 2025

再分配のはじまり

2025.10.3 - 4

05. 質疑応答

06. フォトセッション

本日の記者会見は以上で終了となります。
ご参加いただき、誠にありがとうございました。

個別取材をご希望の方は、お近くのスタッフまでお声がけください。
なお、本会場は 11:00 までオープンしております。